

Wing

ウイング

あなたとJAを結ぶ広報誌



2021 No.300

おかげさまで創刊300号



Wingの歴史

JA広報誌「Wing」は、組合員と地域住民を対象として発行し、農業やJA管内で生産される農畜産物をはじめ、JA各事業や生産部会等の各組織の取り組み内容、地域の情報や生活に役立つ情報などを掲載しています。地域社会に「JAの存在意義」と「食と農」の大切さを広く情報発信して多くの皆さまにJAファンになってもらうこと、組合員や地域住民と、JA、JA職員の架け橋となるような地域に密着した誌面づくりを目指して制作しています。毎月、家庭訪問日に組合員を中心に管内の地域の皆さまのお宅へJA職員が直接お届けしています。また、その他にもJA支店・事業所やJA農産物直売所「よらん野」などに設置して配布しています。

1996年4月発行「Wing 5月号」(No.1)
～2014年3月発行「Wing 4月号」(No.216)

2014年3月までは管内の女性に表紙を飾っていただきました。

星野支店 木村綾花さん(25)



表紙の人 管内の女性

私は1996年4月生まれなので、Wingと同じ時代を歩んできました。これからもWingと一緒に成長していきたいです！毎月の発行を楽しみにしています！



2014年4月発行「Wing 5月号」(No.217)
～2019年3月発行「Wing 4月号」(No.276)

2014年4月からはJA青年部に表紙を飾っていただきました。

2017年4月発行「Wing 5月号」(No. 253)より全ページカラー刷りとなりました！



表紙の人 JA青年部



2019年4月発行「Wing 5月号」(No.277)～

現在は生産者家族に表紙を飾っていただいています。



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため家庭訪問日(2020年5月26日)が中止となったことを受け、同年4月発行の「Wing 5月号」(No.289)からホームページ上で閲覧可能となりました。



表紙の人 生産者家族



過去の「Wing」を並べ、創刊号を手にする鶴木高春 JA組合長(写真左)と299号を手にする小林幸一専務



300号記念特別号・創刊25周年を迎えました！ 心ひとつに八女 大空へ翔ける広報誌。

JAふくおか八女が発刊する広報誌「Wing」は、平成8年4月に創刊。以来25年間、毎月発行を続け、今月号で300号を迎えました。これを記念し、今月はページを増部し、特別号を発刊します！

鶴木組合長と小林専務に訊く

「Wing」の役割とは

鶴木組合長 組合員と組合をつなげるのが「Wing」の最大の使命。そのためにも、どんなに大事なことを書いていても、まず手に取って読んでもらわないことには意味がないよね。そういう意味では、人の顔が大きく掲載されている表紙の写真はインパクトがあつてとてもいいと思うよ。

小林専務 「Wing」というのは翼。情報の翼のことだと思う。組合員と組合との情報をつなぐと同時に、組合員どうしをつなぐ役目もあるよね。最終的には、組合員や准組合員、地域住民の結束力や団結力を高める、「機関誌」としての役割を担ってほしいよね。

鶴木組合長 現在表紙に写っている子どもたちが、あと20年経ったときに、大人になり、農家として表紙を飾ってほしいね。

小林専務 文字だけではなく写真を大きく使って「読みやすさ」を意識した誌面作りは昔も今も変わっていないくて、とてもいいね。

今後も、読者や編集担当者の温かみ・人間味が伝わる誌面作りに期待しています！



小林専務 今後は、正組合員だけでなく、准組合員や地域住民に的を絞った編集や書き方も必要になってくると思う。農作業の専門用語に注釈をつけるとか。また、JAから一方的に情報を伝えるだけではなく、読者から拾った声をより誌面に反映することができれば、もっと広く読まれるようになるんじゃないかな。

今後の「Wing」に期待すること

鶴木組合長 経済渉外や金融渉外、TACや営農指導員など、外に出向いて組合員と接している職員を、顔が見えるようにして誌面でもっと紹介してほしいな。

CONTENTS Wing4月号		
2	Wing創刊25周年を迎えました!	15
3	Wingの歴史	16~17
4~5	JAふくおか八女のあゆみ	18~19
6~7	JAふくおか八女が誇る「地域ブランド」農産物	20
8~9	JAふくおか八女の農産物マップ	21
10	協同組合ってなんだろう?	22
11	チャレンジ250支援事業	23
12~14	トピックス	24
		ベジタブルライフ & JAFY'Sキッチン
		JAFY TOWN 笑顔みいつけた!
		読者のページ
		青年部
		女性部
		JAふくおか八女 INFORMATION
		300号記念プレゼントキャンペーン
		Aコープ&よらん野情報 出荷者さんこんにちは

JAふくおか八女のあゆみ

～これまでも、これからも、地域とともに～



2009年
2010年
2011年
2012年
2013年
2014年
2015年
2016年
2017年
2018年
2019年
(令和元年)
2020年
2021年

- 2009年 4月 立花地区センター新設
11月 「JAFY Smile」創刊
- 2010年 4月 新かんきつ選果場が竣工
- 2011年 4月 JA農産物直売所「よらん野」新築オープン
8月 「今こそ農業塾」開講
9月 なす広域選果場が竣工
12月 「ジャフィーくん」が公式マスコットキャラクターに
- 2012年 4月 「茶と花の里」2号館オープン
7月 九州北部豪雨災害復興に向け支援活動
- 2013年 2月 筑後パッケージセンター完成
5月 茶直売所「一芯庵」オープン
7月 よらん野Webオープン
- 2014年 2月 「茶と花の里」が福岡県介護保険事業実践研修報告会で最優秀賞を受賞
2月 JA農産物直売所「よらん野」がJA農産物直売所店舗認定で金賞認定
- 2015年 8月 JA就農支援センター開所
12月 八女伝統本玉露がGI認証登録
- 2016年 2月 JAいちご部会第45回日本農業賞・集団組織の部大賞
10月 JAふくおか八女合併20周年記念式典開催
11月 JAいちご部会第55回内閣総理大臣賞(園芸の部)受賞
- 2017年 4月 JA広報誌「Wing」オールカラー化
7月 九州北部豪雨復旧・復興へ向けJA職員を派遣
7月 農業生産基盤強化支援事業開始
11月 組合員アンケート調査実施
- 2018年 12月 黒木複合型施設・立花支店・広川支店が竣工
- 2019年 1月 一部の支店・事業所を統合
2月 移動購買金融店舗車「ふれあいジャフィーくん号」巡回開始
10月 令和元年災害復旧・復興支援を農業生産基盤強化支援事業に追加
- 2020年 9月 組合員との対話活動
10月 公式インスタグラム開始
- 2021年 3月 インスタグラムフォロワー500人突破!
3月 Wing「300号記念特別号」発刊
4月 チャレンジ250支援事業スタート



1996年
(平成8年)
1997年
1998年
1999年
2000年
2001年
2002年
2003年
2004年
2005年
2006年
2007年
2008年

- 1996年 4月 JAふくおか八女誕生(8JAが合併)
4月 JA広報誌「Wing」創刊
6月 JAふくおか八女青年部が発足
9月 JAふくおか八女女性部が発足
- 1997年 9月 立花かんきつ選果場に最新自動選果機を導入
11月 広域合併1号店「とびかたSS」がオープン
- 1998年 1月 JA広報誌「Wing」がJA機関誌コンクールで最優秀賞に
12月 大豆共同乾燥調製施設が竣工
- 1999年 7月 広域なし・とまと・もも集出荷施設稼働
10月 販売事業200億円超JAサミット開催
11月 JA葬祭センター「まごころ会館長浜」オープン
- 2000年 5月 八女・立花カントリーエレベーター完成
12月 長峰パッケージセンター完成
- 2001年 7月 「全農安心システム」で緑茶飲料発売
9月 JAふくおか八女杯少年スポーツ大会開始
- 2002年 7月 JA農産物直売所「よらん野」オープン
9月 「環境センター」完成
- 2003年 3月 総合食品加工センター完成
9月 羽犬塚支店開設
11月 キウイフルーツ最新鋭選果機稼働
- 2004年 5月 JABank新システムに移行(九オンからJASTEMへ)
5月 「小学校へ本を贈ろう」運動開始
- 2005年 5月 JA葬祭センター「まごころ会館山内」オープン
6月 JAデイサービスセンター「茶と花の里」オープン
10月 八女東支店・八女西支店など統合店舗10支店開設
- 2006年 4月 JA合併10周年に統一ロゴマーク誕生
- 2007年 1月 黒木パッケージセンター完成
4月 「立野広域購買店舗」開業
- 2008年 4月 新八女茶加工センター竣工(3施設を統合)
12月 黒木セルフSS新設移転





03 八女茶「八女伝統本玉露」

JAふくおか八女の特産「八女茶」。中でも日本一の質と生産量を誇る玉露(全国シェア=約45%)は、7年連続(令和3年現在)で農林水産大臣賞を受賞する「八女茶」の代表茶です。その玉露の中でも、伝統的な「自然仕立て」、「わら資材の棚被覆」、「手摘み」によって生産される玉露で一定の基準をクリアしたものが「八女伝統本玉露」となります。

※「八女伝統本玉露」は平成27年に、地理的表示保護制度(GI)に登録されました。

昨年には、福岡県や県内の八女茶生産者、茶商、JAふくおか八女など関係団体が一体となり、「福岡の八女茶」ロゴマークを制作しました。このロゴマークを商品/パッケージに記載したり、販促イベントで活用するなどして、さらなるブランド力の強化を図っています。

※地理的表示保護制度(GI)とは、地域で育まれた伝統と特性を有する農林水産物・食品のうち、品質等の特性が産地と結び付いているものについて、その地理的表示を知的財産として国に登録し、保護していく制度です。登録された産品には、GIマークが付与され、ブランド名を独占的に名乗ることができます。また、メリットとして、品質基準を定め、基準を満たす高品質の産品のみを市場に出荷できることや不正な地理的表示の使用は国による取り締まりの対象となるため、自分たちのブランドを守ることができることなどがあります。



04 キウイフルーツ「博多甘熟娘(うれっこ)」

11月以降、旬を迎えるJAふくおか八女キウイフルーツ部会の主力品種「ハイワード」。日本一の生産量を誇っています。同部会のキウイフルーツが量とともに質の高さ(おいしさ)を評価されているのには、理由があります。

全国に先駆けた「専用追熟庫」を導入し、出荷前に追熟処理を施し、専用の糖度センサー付きの選果設備を使用して高品質なキウイフルーツを消費者へ届けているからです。さらに、糖度15度以上という厳しい選果基準を突破したキウイフルーツのみを「博多甘熟娘(はかたうれっこ)」として出荷しています。



05 ミカン「華たちばな」

八女地域は有明海から15~30km離れた内陸に位置し、標高が60~300m台と広範囲にかんきつ園が広がる県内有数のミカン産地です。JAかんきつ部会は平成12年に発足し、栽培面積は394ha、年間生産量は7,800tと県内最大規模を誇ります。

同部会は、適地適作による優良系みかんの品種導入により、9月から翌年3月までの長期間にわたって、露地みかんの長期リレー販売を確立しています。

また、かんきつ園地の基盤整備を積極的に進め、8年から28年までに累計46.7haを整備しました。21年度以降より整備した大型の基盤整備圃場ではシートマルチ被覆と点滴かん水施設を組み合わせた栽培技術「マルチドリップ栽培(通称:マルドリ栽培)」の導入を進め、消費者が求める高品質な果実を省力的に作ることを実現しています。

22年には新選果場を建設し、光センサー選果機を導入して、高糖度ミカン「華たちばな」として、独自の商品化を行い、大人気の商品となっています。



JAふくおか八女が誇る「地域ブランド」農産物

JA_FUKUOKAYAME

JAふくおか八女では、さまざまな農産物を生産しています。それらの農産物は、品種改良を重ね開発された品種を導入したり、最先端の選果機を導入し品質に磨きをかけるなどして、「地域ブランド」を育ててきました。今回は、その中でもJAふくおか八女の部会が中心となり、ブランドを確立させた5品目を紹介します。

01 イチゴ「博多あまおう」

福岡県内では昭和60年から「博多とよのか」が栽培され、平成元年には福岡県が栃木県を抜き系統販売額日本一になりました。しかし、他産地で色合いや食味の優れた品種が普及してきたため、JAふくおか八女いちご部会は、これらを上回る品種育成を国や県の試験場へ強く要望しました。「赤くておいしい」、「見た目がきれい」など消費者ニーズ、「パック詰めしやすい大玉」で調製時間の削減が期待できる生産者ニーズを兼ね備えた品種を目指し、県の関係機関と連携し実証試験を繰り返しました。そして、その中から11年度に、大玉で着色が良い系統の福岡S6号(後の「あまおう」)が誕生しました。

当時、「あまおう」の栽培技術は確立しておらず、多くの課題を抱えていましたが、同部会が高収量生産者の事例や各種実証試験の結果などの栽培技術情報を積極的に提供したり、同部会が改善、開発してきた技術を基に福岡県が『「あまおう」栽培の手引き』を作成するなどして、県内イチゴ生産者の生産技術の課題を克服し、16年度について念願の「あまおう」が誕生しました。

※「あまおう」は果実の特長を表す4つの言葉、『あ:あかい』、『ま:丸い』、『お:大きい』、『う:うまい』の頭文字と『甘いイチゴの王様になるように』という願いが込められ福岡県で命名されました。

※同部会は、県内での品種更新の主導や新技術の確立と普及が高く評価され、28年3月に第45回日本農業賞大賞(農林水産大臣賞)、同年11月に第55回農林水産祭内閣総理大臣賞を受賞しています。



02 八女電照菊「神馬」

八女を代表する花といえば、やはり「八女電照菊」。「西の八女・東の渥美(半島/愛知県)」と称されるほどの出荷量を誇るJA八女電照菊部会は平成20年より、大輪白菊「雪姫」を主力品種として栽培してきました。平成29年より、「雪姫」よりさらに日持ちが良く高い生産性を持つ「神馬」を主力品種に変え、環境に優しく安全・安心にこだわりながら、さまざまな品種による周年出荷を行っています。

同部会では、生産する品種を厳選することで、高度な栽培管理ノウハウを蓄積することが可能となり、斉一な生育管理による一斉切り上げの高度な栽培技術による計画生産・出荷が可能となっています。また、品種導入にあたっては一斉収穫に向けた品種を選抜・導入しています。

また、昨年からの新型コロナウイルスの影響で、葬儀などのイベントが少なくなる中、日用品として気軽に八女産輪ギクを楽しんでもらおうと、ウェブでの販売にも取り組んできました。また、スマートフォンアプリ「花き管理システム」を活用したウェブでの目合わせ会や営農指導など、コロナ禍に対応した高品質な輪ギク出荷・販売に努めています。



JAふくおか八女の 農産物マップ



イチゴ

- ◇出荷時期: 11月~5月
- ◇部会員数: 455人
- ◇栽培面積: 101ha
- ◇年間出荷量: 約4,300ト

◇特徴
福岡県内のイチゴ「博多あまおう」生産量3分の1を占めるJAふくおか八女いちご部会。温暖な気候の八女地域で育った「あまおう」は、濃い甘みの中にほのかな酸味が楽しめる最高の一品です。



八女茶

- ◇出荷時期: 4月中旬~5月中旬
- ◇部会員数: 885人
- ◇栽培面積: 1,400ha
- ◇年間出荷量: 約1,300ト

◇特徴
八女の地で育った「お茶」は、内陸性の気候・風土、収量・品質を重視した栽培、旨みとコクがあってまろやかな味とさわやかな香りが特徴です。6月から8月にかけて収穫される二番茶や三番茶も深い味わいです。また、伝統的な製法でつくられる「八女伝統本玉露」は平成27年にGI認証登録を受けています。



ナス

- ◇出荷時期: 5月上旬~11月下旬(夏秋) 9月上旬~7月上旬(冬春)
- ◇部会員数: 48人(夏秋)・93人(冬春)
- ◇栽培面積: 4ha(夏秋)・18ha(冬春)
- ◇年間出荷量: 約330ト(夏秋) 約2,400ト(冬春)

◇特徴
八女地域で栽培された「博多ナス」は、くせがなくてやわらかく、ボリューム感のある食感。当地区は周年で栽培しており、1年中おしく食べることができます。



トマト

- ◇出荷時期: 10月上旬~6月中旬(大玉とまど) 7月上旬~6月下旬(中玉とまど)
- ◇部会員数: 60人(大玉)・33人(中玉)
- ◇栽培面積: 13ha(大玉)・6ha(中玉)
- ◇年間出荷量: 約2,000ト(大玉) 約900ト(中玉)

◇特徴
八女地域で栽培された「トマト」は、食味、品質にこだわったおいしいトマトです。部会の主力品種は、大玉トマトは「桃太郎ホーフ」、中玉トマトは「フルティカ(はなひめ)」です。



八女電照菊

- ◇出荷時期: 周年
- ◇部会員数: 109人
- ◇栽培面積: 97ha
- ◇年間出荷量: 約3,923万本

◇特徴
八女の電照菊は、全国2位の生産量を誇り、北は北海道から南は九州まで全国へ向け出荷しています。主力品種は秋ギク「神馬」です。その他にも夏秋ギクの「精の一世」、「優花」などさまざまな品種があります。輪ギクの生産は、白輪ギクを中心に平地から山間地まで施設栽培により、周年での安定生産に取り組んでいます。



ブドウ

- ◇出荷時期: 5月~11月下旬
- ◇部会員数: 315人
- ◇栽培面積: 157ha
- ◇年間出荷量: 約1,960ト

◇特徴
管内は、県内系統販売シェアの約6割を誇る県下最大のブドウ産地。「種なし巨峰」を中心に、「有核巨峰」や「博多ピオーネ」、「シャインマスカット」、「テラウェア」など多くの品種が栽培されています。



梨

- ◇出荷時期: 7月上旬~11月下旬
- ◇部会員数: 90人
- ◇栽培面積: 90ha
- ◇年間出荷量: 約2,300ト

◇特徴
西日本有数の生産量を誇る八女地域で栽培された「梨」は、丸々とした果実に、独特の食感とみずみずしい甘味を凝縮。早生品種「幸水」を中心に果汁の多さと糖度・酸味のバランスが魅力の「豊水」など、高品質・大玉生産の栽培を行っており、様々な品種を味わうことができます。

その他の農産物

農産物名	梅	桃	スモモ	柿	イチジク	タケノコ	レタス	グリーンレイシ	アスパラガス	シイタケ
出荷時期	5月~6月中旬	5月~7月	5月下旬~8月下旬	9月下旬~12月上旬	7月下旬~11月	12月~4月	11月~4月	5月~9月	1月中旬~10月下旬	9月~5月(生) 4、7、11月(乾)

これらの農産物を購入できるJA直売所

直売所	住所	電話	営業時間	定休日
1 よらん野	筑後市前津503-1	0942-54-7755	9:00~18:00	毎月第2火曜日
2 どろや	広川町大字新代1787-5 (JA広川地区センター内)	0943-32-5311	10:00~16:00	1月1日~3日
3 一芯庵	八女市本村422 (JA本店の向かい)	0120-464-188	9:00~16:45 (第1・第3土曜日は9:00~12:00)	日曜祝日、第2・4土曜日



農産物名	ガーベラ	スプレーマム	洋ラン
出荷時期	周年	周年	周年

その他の花き



米・麦・大豆

- ◇出荷時期: 9月~10月(米) 5月~6月(麦)、11月(大豆)
- ◇生産者数: 1,567人(米) 522人(麦)、357人(大豆)
- ◇栽培面積: 1,330ha(米) 1,340ha(麦)、485ha(大豆)
- ◇年間出荷量: 約5,000ト(米)、4,500ト(麦)、1,000ト(大豆)

◇特徴
「春夏秋冬いつでもまい!!」がモットーの福岡県産米「めし丸 元気つくし」をはじめ、JAふくおか八女PB米「やめられん米(ヒ/ヒガリ)」、「夢つくし」などを栽培しています。小麦はうどん用がメインですが、平成21年産よりラーメン用小麦「ラー麦」を生産しています。



ミカン

- ◇出荷時期: 9月~3月
- ◇部会員数: 339人
- ◇栽培面積: 394ha
- ◇年間出荷量: 約7,800ト

◇特徴
適地適作による優良系みかんの品種導入により、9月から翌年3月までの長期間にわたって、露地みかんの長期1ル一販売を確立しています。また、光センサーで選果した高糖度ミカン「華たちはな」として販売しています。



キウイフルーツ

- ◇出荷時期: 11月~4月上旬
- ◇部会員数: 480人
- ◇栽培面積: 190ha
- ◇年間出荷量: 約3,500ト

◇特徴
国内有数のキウイフルーツ収穫量を誇るJAキウイフルーツ部会は、JA立花中央選果場で専用の糖度センサーを通し厳正に選果後、隣接する追熟庫で追熟処理を施し食べごろのキウイを出荷しています。高糖度のものは「博多甘熟娘(はかたうれっこ)」として販売しています。

JA自己改革第2弾!

規模拡大される組合員をJAが強力バックアップ!

農産物販売高250億円!

チャレンジ250支援事業 が始まります!



JAは、「農業生産基盤強化支援事業」に続き、自己改革の第2弾として、令和3年度より新たに「チャレンジ250支援事業」を立ち上げ、規模拡大を図る組合員を強力にバックアップします!

実施期間	令和3年4月1日～令和7年3月31日までの4年間	支援額	総額2億円以内 5,000万円/年
------	--------------------------	-----	-------------------

※「チャレンジ250支援事業」…対象の組合員に対し支援金を交付することで農業生産の拡大を図り、JAの農産物販売高250億円を維持することを目的とする。

新規施設支援

規模拡大のため栽培施設(鉄骨ハウス・パイプハウス・雨よけハウス・果樹棚・玉露棚等)を新規に設置する経営体に対し、自己資金(補助残・消費税抜き)の40%以内を支援する。
規模拡大を伴わない新規設置(更新)は、20%以内の支援とする。
※ただし、上限金額は500万円/年とする。

施設長寿命化支援

施設長寿命化のため栽培施設(鉄骨ハウス・パイプハウス・雨よけハウス・果樹棚・玉露棚等)を改修する経営体に対し、自己資金(補助残・消費税抜き)の10%以内を支援する。
※ただし、上限金額は50万円/年とする。

農地再生支援

2年以上放置されている農地(果樹・茶園)を整備し、再生することで新たに生産を開始される経営体に対し、20万円以内/10aを支援する。(対象面積は10a以上※中山間地は5a以上)
2年以上放置されている農地(水田・畑)を整備し、再生することで新たに生産を開始される経営体に対し、5万円以内/10aを支援する。(対象面積は10a以上※中山間地は5a以上)
※ただし、上限金額は100万円/年とする。

改植支援

農業振興地域外での果樹・茶園の改植に対し10万円以内/10aを支援する。(対象面積は10a以上)
※ただし、上限金額は50万円/年とする。

チャレンジ
250

組合員を
応援します!

以下は、「農業生産基盤強化支援事業」(実施期間:令和4年3月31日まで)から継続する支援対象事業です。

作物導入支援 (新規・規模拡大)	● 施設栽培で作物導入 10万円/10aを支援する。(対象面積は1作物概ね5a以上) ※ただし、上限金額は50万円/年とする。
中山間地露地作物導入支援	● 露地栽培で作物導入 5万円/10aを支援する。(対象面積は1作物概ね10a以上) ※ただし、上限金額は25万円/年とする。
園地流動化促進支援	● 5a以上の施設(鉄骨・パイプハウス)を売却または5年以上貸し付けた地権者へ3万円/10aを支援する。 ※ただし、上限金額は10万円/年とする。 ● 10a以上の露地園地等を売却または5年以上貸し付けた地権者へ5千円/10aを支援する。 ※ただし、上限金額は5万円/年とする。
栽培施設整備支援	● ハウス等の部材で、税別50万円以上の栽培施設整備を行うものに対して10%以内を支援する。 ※ただし、上限金額は50万円/年とする。

※1経営体あたりの支援金総額は、全対象事業を通算して、4年間で500万円以内となります。
※支援により生産される作物は、果樹・茶・花木は8年以上、野菜・花きは3年以上の継続栽培が必要となります。

Check! 農業生産基盤強化支援事業の「機械装置購入支援(購入費の10%以内の支援)」は令和3年度で終了します。対象機械のハウス加温機・粉砕機は令和3年度中の購入をぜひともご検討ください。

問い合わせ 農業振興課 ☎0943(23)1378 もしくは 最寄りの各地区センターまで

祝300号記念! 「協同組合ってなんだろう?」



Wing300号達成ありがとうございます! 発刊から25年。25年前から私は、現役バリバリのミカン農家です! ここまで発刊を続けて来られたのも、ひとえに読者である組合員の皆さまや地域の利用者の方々のおかげであります。心よりお礼申し上げます。
Wingの発刊に限らず、私たちJAふくおか八女が行うさまざまな事業は、組合員の皆さまをはじめ地域に住むたくさんの方々のご協力により成り立っています。ここで改めて、協同組合やJA、組合員制度について、ご紹介いたします。

協同組合

協同組合ってなに?

協同組合とは、同じ思いや願いを持った人たちが助け合い、力を合わせることで自分たちの暮らしを良くしていこうとする組織です。

協同組合は、組合員の声や意見を大切に、組合の運営に反映します。一人では実現できないことも、同じ思いを持ったみんなの力を合わせることで、願いを実現することができます。

JA 農協

JAってなに?

JAとは『Japan Agricultural Co-operatives』の頭文字をとったもので、農業協同組合(農協)の略称です。

JAのロゴマーク

JAふくおか八女では、地域農業の発展やよりよい地域社会を築くことを目的に、さまざまな事業を行っています。

正組合員 准組合員

「正組合員・准組合員」ってなに?

正組合員…①農業を営む個人、または②1年のうち60日以上農業に従事する個人であって、その住所又はその従事する農業に係る土地又は施設がJA管内にある方

准組合員…JA管内にお住まいで、JAの事業を継続的に利用していただける方。JA管外にお住まいの方でも、一定の条件を満たすことでご加入することができます。

「正組合員」「准組合員」どちらであっても、すべてのJA事業を利用できます。

「准組合員」は農業を応援するパートナー!

准組合員や地域の皆さんは、食や暮らしを通じて農業を応援する、JAの協同のパートナーです。農業者である「正組合員」、地域生活者である「准組合員」の皆さんが、JAのさまざまな事業をご利用いただくことで、地域の農業や豊かな自然が守られています。

小林幸一
JA専務理事



JAふくおか八女では、地域の活性化のためにさまざまなことに取り組んでいます!

かんきつ部会 **かんきつ部会青年部員が講習会で剪定技術学ぶ**

JAかんきつ部会青年部は、2月22日、立花町の園地で冬季管理講習会を開きました。ミカン「石地」の木の剪定など冬季の管理について学び、今後の栽培に生かすことが目的です。11月下旬から12月中旬にかけて収穫される「石地」は、甘くコクのある食感が魅力。同部会でも、推奨品種の一つとして、栽培する生産者が増えてきています。講習会では、JA担当職員が同品種の特性や剪定法について説明した他、八女普及指導センターの担当職員が実技を通して剪定技術を指導しました。



「石地」の剪定技術について学ぶ部員ら

花あふれるふくおか推進協議会 **県産花き消費拡大へ八女の花を展示**

JAなどで構成する「花あふれるふくおか推進協議会」は、県産花きの需要を創出しようと、企業や公共施設等での飾花を進める取り組み「県産花き消費促進活動」を展開しています。同活動の一環として、JA農産物直売所「よらん野」店舗入り口や八女市の福島八幡宮などに、色とりどりの県産花き(ガーベラ、八女電照菊、ユリなど)をアレンジしたモニュメントを展示し、来店者を和ませました。



福島八幡宮に展示された花



「よらん野」に飾られた八女の花モニュメントに見惚れる女の子

いちご部会 **ミツバチ感謝の日園児に「博多あまおう」贈る**

JAいちご部会広川地区は3月8日、広川町の保育園・幼稚園園児に、地元特産のイチゴ「博多あまおう」を贈りました。

イチゴの受粉作業に欠かせないミツバチへの感謝の気持ちを込めて、「ミツ(3)バチ(8)の日」にあたる3月8日に合わせて、毎年贈呈しています。総園児数約1,000人に対し、200パック(1パック270g)を贈り、子どもたちにPRしました。



「博多あまおう」を受け取る園児たち

楽天市場 **通販サイトでの販売始まる**

JAは、3月1日から、楽天が運営するEC(電子商取引)サイト「楽天市場」内の「福岡県よかもんショップ」で、八女茶ティーバッグと、ガーベラの販売を始めました。



ECサイトでの販売を始めた八女茶ティーバッグとガーベラMIX

商品は、「恋する八女茶。煎茶・玉露ティーバッグ詰め合わせ」を4,824円、「広川ガーベラMIX(50本入り)」を5,000円で販売(送料無料)。通年で販売しており、3月26日までは、クーポン取得により、3割引きで販売します。

かんきつ部会 **かんきつ部会が全国果樹技術・経営コンクール受賞!**

JAかんきつ部会は2月22日、「第22回全国果樹技術・経営コンクール」で農林水産省生産局長賞を受賞しました。同コンクールは、果樹の生産技術や経営方式等において他の模範となる先進的な農業経営体及び集団組織を表彰します。



鶴木高春組合長へ受賞報告したかんきつ部会役員

管内は、標高が60~300m台と広範囲にかんきつ園が広がり適地適作による優良系みかんの品種導入により、9月から翌年3月までの長期間にわたって、露地みかんの長期リレー販売を確立しています。

また、青年部を中心としたメンバーでGAP研究会を組織し、平成28年にはJGAPの団体認証を取得。JGAP認証の商材を希望する量販店との新たな契約販売につなげています。



かんきつ部会役員らとJA営農指導員(左から宮田朗典指導員、中島光秀副部長、松崎部会長、古賀浩輝副部長、田中健史指導員)

茶業部会 **広川中学校生徒から八女茶贈呈の感謝状届く**



生徒らから感謝状を受け取る樋口部長(写真左)

JAは昨年の9月と今年2月に、国が実施する茶販売促進緊急対策事業を活用し、管内の全公立小中学校に特産の八女茶(1袋150g・児童1人あたり7袋)を贈呈しました。これを受け、贈呈した小中学校から多くの感謝の声が寄せられています。

3月5日には、広川町の広川中学校の1年生生徒らからお礼の感謝状がJAへ贈られました。これは、進級に向け1年間を振り返る中でお世話になった方へ感謝の気持ちを伝えたいと生徒らが発案したものです。感謝状を受け取ったJA総合販売部の樋口新一部長は「特産である八女茶に親しんでほしいと企画した。4月になると一番茶のシーズンになる。ぜひ、そちらも味わっていただけたらうれしい」と話していました。

シイタケ生産者 **クヌギの有効活用によりシイタケ産地振興へ**

JAでは、クヌギを有効活用することで、シイタケの収益性の向上や、産地振興に取り組んでいます。福岡県と連携した補助事業「しいたけ生産振興推進事業」の一環として平成30年度から進めています。



生産者によって持ち込まれるチップ材用のクヌギのほだ木

クヌギは、シイタケの原木栽培では、ほだ木として、菌床栽培では、チップ材(おが粉)として活用されています。クヌギの伐採搬出にかかる経費を県が補助し、チップ材として業者にクヌギを出荷する場合や、ほだ木として活用する場合に、出荷量や本数に応じて支援金を支出することにしました。原木・菌床栽培ともに高品質なシイタケを生産することで、産地として競争力の強化を図ります。



オカビジキ

～ミネラル豊富な陸の海藻～



NG

鮮度が落ちている
茎の切り口が茶色く変色。全体に黄色味を帯びている
茎が太過ぎたり全体的に大き過ぎる

オカビジキのヒミツ

歴史

『本草図説(1828年)』
海辺の砂地で「育つ植物として絵付きで」
詳しく紹介



名の由来

(葉の様子)がヒジキに似ている。「おか」に生えるヒジキという意味。別名はミルナ(水松菜)。海藻のミル(水松)に似ているから

無農薬

虫が付きにくい性質の通常栽培ではほとんど農薬を使わない。安心して食べられる

オカビジキのプロフィール

【分類】ヒコ科オカビジキ属
【原産地】日本、中国、欧州南西部
【おいしい時期(旬)】4～10月ごろ
【主な栄養成分】カリウム、カルシウム、マグネシウム、鉄、β-カロテンなど

保存方法



野菜室へ
乾燥を防ぐため、ラップや保存袋に入れる



レシピ1 ホタルイカとナバナのおひたし



レシピ2 アサリとトマトのオイル蒸し

ジャフーズキッチン



レシピ1 ホタルイカとナバナのおひたし

材料(4人分) 作り方

ホタルイカ	20杯
ナバナ	1わ
おろしショウガ	適宜
トマト	1個
【だし汁】	
かつおだし	1と1/2カップ
薄口しょうゆ	大さじ1
みりん	大さじ1

- 鍋に湯を沸かし、目・口を取り除いたホタルイカを入れて湯通ししてざるにあげる。同じ鍋に塩少々を入れてゆで、冷水に落として水気を切る。
- だし汁の材料を鍋に入れて沸騰させ、冷ましてから①を入れて味を含ませる。
- 器に盛り付け、おろしショウガ、食べやすい大きさに切ったトマトを添えて出来上がり。

レシピ2 アサリとトマトのオイル蒸し

材料(4人分) 作り方

アサリ	200g
トマト	1個
小松菜	1/2束
ニンニク	1片
オリーブ油	大さじ1
白ワイン	大さじ2
塩昆布	少々

- フライパンにオリーブ油をひき、アサリ、角切りにしたトマト、つぶしたニンニクを入れて、ふたをして弱火にかける。
- ニンニクの香りが立ったら、白ワイン、塩昆布、切った小松菜をさらに入れて、ふたをする。
- アサリの口が開いたら器に盛り付け出来上がり。

立花地区女性部 立花地区女性部が展示会開き活動を報告

JA立花地区女性部は2月19日、JA立花地区センターで令和2年度の活動展示会を開きました。さげもんサークルやあみものサークルの作品展示、女性大学での活動展示、昨年12月のガーデニング教室時に植えた鉢植えなどが並び賑わいました。また、「我が家の自慢の一品コーナー」では、部員お手製の料理が並び、コロナ禍で試食は出きませんでしたが、来場者は、レシピを参考にしながら、自分が作ってみたい料理に投票しました。



女性部員らが作ったお手製の料理を見ながら投票する来場者

ジャSPORT広川 春の感謝イベントでミカン「華たちばな」をプレゼント



日頃の感謝の気持ちを込め、利用者(写真左)にミカンを手渡すJA職員

JAが運営する、広川町のガソリンスタンド「ジャSPORT広川」は、2月19日～21日の3日間、春の感謝イベントを開きました。ガソリン・軽油を200以上給油した利用者に、ブランドミカン「華たちばな」を1袋プレゼントし、多くの来店者でにぎわいました。受け取った利用者は「八女のミカンはとてもおいしく、ありがたいです」と笑顔で話していました。

フレッシュミズ 昔ながらのみそ作りを体験

JAフレッシュミズは2月17日、JA立花地区センターでみそ作り講座を開き昔ながらのみそ作りを学びました。講座では、JA女性部の大坪知美子会長をはじめ、女性部役員3人が講師となり、長年伝わるみそ作りのコツをアドバイスしました。3班に分かれた部員たちは、大豆と米こうじを混ぜ合わせて大豆と米こうじを足で踏み参加者



混ぜ合わせた大豆と米こうじを足で踏み参加者

大豆と米こうじを混ぜ合わせて足で踏み作業や、みそを丸める作業を協力しながら行いました。

おめでとうございます!
祝 百寿
松尾義輝さん

JAデイサービスセンター
祝 100歳の誕生日!
松尾義輝さん

JAデイサービスセンター「茶と花の里」は3月5日、利用者の松尾義輝さんの100歳の誕生日を記念して、「百寿のお祝い」の表彰式を開きました。利用者やJA職員が見守る中、小松豊重JA経済常務から、表彰状と記念品、花束が贈られました。松尾さんは「これからも健康にのんびり過ごしていきたい」と笑顔で話していました。

JAデイサービスセンター
「茶と花の里」八女市本村425-280
☎0943(23)1161



JAFY TOWN

笑顔みいつけた!

わが家の

アイドル

栗秋 航大・隼士くん
(1歳) (4歳)



ボール遊びや紙飛行機作りが大好きな隼士くんと航大くん♪兄弟なかよくいっぱい遊んで元気に育ってね♡♡♡

八女市星野村の哲也・陽子さんの二男・長男

橋村 悠希くん・葵依ちゃん・言輝くん
(3歳) (7歳) (8歳)



ケンカもするけどいつも仲良し3兄妹!毎日元気をもらっています!これからもみんなを楽しませてね♡♡♡

黒木町笠原の剛志・裕子さんの二男・長女・長男

星野 千尋ちゃん
(3歳)



歌って踊ってが大好きなちひろちゃん♡これからも毎日笑顔で元気いっぱい大きくな〜れ!!大好きだよ♡♡

広川町新代の隼人・紗弓さんの長女

永松 世柎くん
(0歳)



生まれてきてくれてありがとう!たくさん食べて大きくなってね!一緒にキャッチボールできる日がたのしみだね♡

筑後市前津の宏章・美幸さんの長男

室園 泰輝くん
(1歳)



かわいい泰輝くん♡食欲旺盛でイチゴが大好き♡ダンスやはたらく車が大好き♡これからも室園家のアイドルです♡

八女市蒲原の翔太・小姫さんの長男

大隈 斗真くん・里菜ちゃん
(2歳) (0歳)



ブロック遊びが大好きな斗真くんと離乳食をよく食べる元気いっぱいの里菜ちゃん♡これからも元気にすくすく育ってね!

八女市本の優斗・麻里衣さんの長男・長女

甲木 心琴ちゃん
(0歳)



みこちゃんの笑顔が大好きです♡ママとパパのところにきてくれて心からありがとう♡すくすく大きくなあれ!

立花町山崎の敬太・祥子さんの長女

夢に向かって!

将来の夢

イラストレーター(絵に関わるお仕事)



野中 美遥ちゃん

矢部清流学園小学校5年生
(矢部村矢部の輝彦・明子さんの二女)

夢を叶えるために頑張っていることマンガ「鬼滅の刃」が大好きなので、家に帰ってきて宿題が終わったら、すぐコミックを開いて好きなシーンを探して、そのシーンをひらすら模写しています(笑)。一番好きなキャラクターは「カナヲ」です。もっと上手に描けるように頑張ります!

パパママからのコメント

絵を描くことが小さい頃から大好きだったので、将来の夢に向かって頑張っています。応援しています!



筑後市西牟田
島津 洋光さん(69)
加都子さん(66)
夫妻

親の代から、50年以上自動車整備・修理工場を経営している島津さん夫妻。
仕事一筋の洋光さんは、「地元のお客様を大事にしなが仕事に励んできた」とこれまでを振り返ります。経理を担当する加都子さんは、「好き嫌がなく毎日三食食べる」ことが健康の秘訣と話します。
家庭菜園で洋光さんが育てた季節の野菜を加都子さんが調理したり、休日には2人で温泉に出掛けたりと仲の良い2人は「息子に会社の経営を譲った後は、いろんなことをしてみたい」と楽しそうに話しています。



みんなの声

※誌面の都合上、旧八女市の方以外は八女市を省かせていただきます。

【筑後市】 M・Hさん(88)
 コロナ禍で、初孫が生まれまし
 た。心配したので喜びも大きかっ
 たです。地域のおいしいものを食
 べて元気に育ててほしいです。また
 ひ孫の成長を見たいので私も元
 気にしておかないと…。今は、さ
 げもんやおひなさまを手作りし
 ています。元気になあれ！

【筑後市】 M・Hさん(88)
 よらん野へ花の苗を買いに行
 き、いろいろな苗があり、値段も
 手頃で、帰宅してさっそく花壇に
 植えました。美しい花ばかりにな
 り心なごみました。これからの時
 期いろいろな花が咲き始め楽し
 むですね。

【筑後市】 T・Hさん(65)

【八女市】 K・Hさん(70)
 雪が降ったり、初夏のような
 暑さの日が続いたり、2月は
 体調管理が大変でした。3月は
 穏やかな日でありますように。

【上陽町】 N・Tさん(72)
 コロナ感染初確認から1年。
 緊急事態宣言は解除されたも
 のの、リパウンドが怖いですよ
 ね。今までの辛抱が無駄にな
 らないように、気を引き締めて
 いかねばなりませんね。ウオー
 キングをしていると川になかよ
 く泳いでいるカモと出会いま
 す。その姿はともかわいらし
 く、癒されます。いろんな花も
 咲き始め、毎日の楽しいひと
 きです。

【立花町】 U・Tさん(74)
 「わが家のアイドル」、心のみま
 す。どの子もそれぞれかわい
 い！わが家の孫は大きくなって
 かわいさ通過…。

【筑後市】 I・Tさん(58)
 福岡県の今年の桜の開花予
 想は、3月21日ごろだそうです
 ね。のんびりお花見でも行き
 たいですね！

【立花町】 M・Nさん(85)
 本年は私たちも、桜を見る会
 は中止しました。他意はありま
 せん。他方、GOTOトラベルは、
 経済立て直しのため、わずかで
 も貢献するために決行したいと
 思います。

【八女市】 G・Rさん(77)
 2月25日は、私の誕生日で、77
 歳になりました。4歳のひ孫がプ
 レゼントとして紙で作った指輪を
 2個くれました。とってもうれ
 しくて飾っています。

【福岡市】 Y・Rさん(30)
 家庭菜園が趣味です。今年も異
 常な程のモグラにあちこちポコポ
 コの土が浮き上がっています。何
 か良い対策はないでしょうか…？

【八女市】 S・Hさん(72)
 JA営農指導員の方に
 よると、ポトル系の
 チューイングガム(ラ
 ツ味)を数個、モグラの
 穴に入れると効果があ
 るらしいです！

【筑後市】 K・Nさん(70)
 息子が(話題だという)雑誌「パ
 ンダ自身」をくれました。和ん
 みます。

【筑後市】 K・Nさん(70)
 今年5月に中国へ帰ってし
 まう上野動物園のシャ
 シャンなどパンダたちに焦
 点をあてた伝説の雑誌「パ
 ンダ自身」。欲しい…。

【八女市】 H・Kさん(61)
 よらん野で買ったミモザの花。
 リースやスワッグを作り玄関に
 飾っています。黄色の花がきれ
 いで玄関が華やかになりました。

【八女市】 H・Kさん(61)
 退職して2年が過ぎようとして
 います。小さな畑で、素人の野菜
 作りをしていますので、この本で
 勉強させていただいております。

【美しい桃の花】 広川支店
 広川町藤田の桃生産者、古賀俊
 夫さんに提供していただき、支店
 の窓口に3月上旬まで飾られま
 した。ありがとうございます。



【八女市】 N・Aさん(59)
 先月号の表紙は息子の高校の
 剣道の先輩家族で、思わずにこ
 り。中面には保育所の孫がひな
 飾りの前で笑顔。またにこり。
 小3の孫は、JAからおいしい八
 女茶をいただいたてきました。あ
 りがとうございました。

【上陽町】 I・Rさん(63)
 八女農業高校生の作ったドレ
 シング(先月号参照、おいしそう
 です。絶対2つの味を食べ比べし
 てみます。楽しみ。

【八女市】 Y・Yさん(64)
 今年もジャガイモを植えまし
 た。畑は、星野村の畑を耕しても
 らいました。植えるときは姉に手
 伝ってもらいました。収穫が終
 わったら、ロケットやまんじゅうを
 作ってみんなに食べてもらうのが
 楽しみです。

【八女市】 Y・Yさん(64)
 今年もジャガイモを植えまし
 た。畑は、星野村の畑を耕しても
 らいました。植えるときは姉に手
 伝ってもらいました。収穫が終
 わったら、ロケットやまんじゅうを
 作ってみんなに食べてもらうのが
 楽しみです。

【八女市】 Y・Yさん(64)

【筑後市】 I・Aさん(71)
 先日、久しぶりに「よらん野」を
 訪れました。平日の昼間、空いて
 いる時間を狙ったのですが、通路
 をまともに歩けないくらい！大
 盛況でした！活気があり食材
 も新鮮で、元気をもらって帰りま
 した！

【八女市】 Y・Mさん
 わが家の庭には、毎年とも
 きれいな花を咲かせてみんなを
 ほっこりさせてくれるしだれ梅
 があります。主人(60歳)が小学
 校入学時の記念樹だそうです。
 今年もとてもきれいです。

【八女市】 Y・Mさん
 わが家の庭には、毎年とも
 きれいな花を咲かせてみんなを
 ほっこりさせてくれるしだれ梅
 があります。主人(60歳)が小学
 校入学時の記念樹だそうです。
 今年もとてもきれいです。

【八女市】 M・Hさん(56)

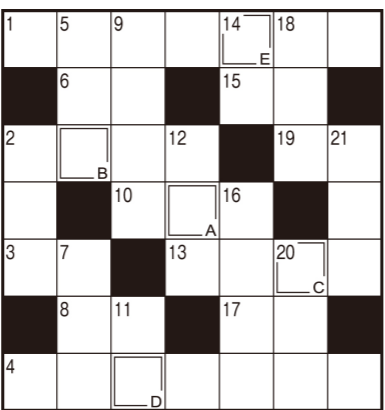
【矢部村】 G・Mさん(72)
 「よらん野出荷者さん」にち
 はいつも見えています。先月号は、
 娘と同級生の「手作り」の店かとう
 「の志保ちゃんでした。何度か津
 江のお店にも寄ったことがありま
 すが、「作ってなんぼだから…」と
 元気ががんばっている姿がありま
 した。志保ちゃんも笑顔と同じく
 らいまいしゅうもおいしです。

【上陽町】 I・Tさん(70)
 3月は妻と自分の誕生日が来ま
 す。自分は71歳、妻は64歳！2人
 の会話を「何歳までが誕生日はう
 れしかったのだろうか？」との
 話です。ちなみに妻の誕生日には
 化粧水をプレゼントしました。ま
 あ、おたがい誕生日を迎えられ
 ることは幸せですね。

【筑後市】 H・Mさん(70)
 今年は、庭の梅の木がよく咲い
 てくれました。小鳥たちもたく
 さん来てくれました。庭のキンカ
 ンの実がずいぶん食べられました。
 でもほぼぼんで見えています。
 来年もたくさん飛来してね。

クロスワードパズル

●二重マスの文字をA～Eの順に
 並べてできる言葉は何でしょうか？



頭の体操



タテのカギ

- ②お稲荷さんのお使いです
- ⑤小さな子どもに読み聞かせるこ
とも
- ⑦一を聞いて●●を知る
- ⑨ひいて木を切ります
- ⑪赤、白、八丁といえ
- ⑫授業が始まる前に鳴ります
- ⑭4月1日にはいつもおいしいとか
- ⑯金太郎は長じて坂田●●となりました
- ⑰につこりするとへこみます
- ⑲精製してガソリンを作ります
- ⑳日光市の景勝地の一つ、●●の滝



3月号の答え!

シユンミン

ヨコのカギ

- ①東京の桜の名所。西郷隆 ⑬1000kgは1●●です
盛像があります ⑮漢字で書くと木瓜。美
- ②ランチュウやコメントはこの一種 ⑰美しい花が咲く植物です
- ③ドライバーで締めたり外したり
- ④威力があつて速い球のこと
- ⑥ムジンのムが表わす物
- ⑧矢がつかえます
- ⑩スマホの検索 ●●を削除した
- ⑬うずら豆は、●●豆の品種の一つ
- ⑮靴を数えるときに使う言葉

正解者の中から抽選で8人の方に農協全国商品券(500円分)をプレゼントします。

当3月号の当選者

- 弥永 龍秀さん
- 星野 員範さん
- 松延 弘美さん
- 松山 初枝さん
- 古賀 百合香さん
- 西田 佑梨子さん
- 池田 久美子さん
- 荒川 大三郎さん

※応募に際し取得しました個人情報
は、当選者の掲載およびプレゼント
発送に使用させていただきます。



応募先 〒834-0063 八女市本村420-1 JAふくおか八女 Wing編集係まで
E-mail: koho@jafyame.or.jp

←メールでも応募できます！

福岡県最大の女性部誕生

初代会長に平井百合子さん

祝 JA女性部設立総会

JAの8つの婦人部、女性部はJA女性部設立総会を9月4日、筑後市若葉のサザンクス筑後で開き、組織を統一しました。初代会長には、八女地区婦人部長の平井百合子さんを選任。部員数9,700人の、福岡県最大の女性部が誕生しました。

四月一日のJA決定に伴い、八女地区協議会が統一の準備を進めていたものの、設立総会には約五百人の婦人部、女性部員が出席。八女地区協議会会長として、上陽地区の井上キズ子部長が「組織が新しくなり、部員一人ひとりが向かい、部員一人ひとりが支え、明るい未来を築いていく」との思いを語り、平井会長は「JAの発展に貢献する女性部員として活躍してほしい」とあいさつしました。

平成8年11月号 (No.7)

日韓親善の一環として、韓国で海外研修を行い、地元農協の女性部と国際交流。キムチやチヂミ作りに挑戦しました。



手作り料理を通して交流する部員

日韓女性部 料理で交流

八女地区の26人が参加

JA女性部八女地区はこのほど、韓国利川(イチュン)市で海外研修を行い、地元農協女性部のメンバー8人と国際交流を交わしました。「見聞を広め、互いに刺激し合おう」という思いで企画。部員とJA生活指導員の計26人が参加し、手作り料理体験では日本でも人気の高いキムチやチヂミなどに挑戦しました。塚本ちあき地区部長は「自らを磨き、活動を充実させていく意欲が一層高まった」と意義ある海外研修を喜んでいた。

平成19年12月号 (No.139)

保育園にミニトマト苗贈る

Fミズ

若いお母さんへの「フレッシュミズPR」と子どもの食育に役立ててもらおうと4月23日、JAフレッシュミズは、昨年の「女性部まつり」時に開いたフリーマーケットの売上金で、管内7市町村の38保育園・所にミニトマト苗114鉢を贈りました。八女市立長峰保育園では、平井山由希会長が出席した園児たちにミニトマト苗3鉢を贈呈。平井会長が「たくさんお水をあげて、大事に育ててください」と園児に呼びかけると、園児たちは「はい」と元気いっぱい応えていました。

平成21年6月号 (No.158)

食育活動として、保育園・幼稚園児たちにミニトマトを贈呈する取り組みは、現在でも続いているフレッシュミズ活動の一つです。

家の光大会

福岡県

フレッシュミズ 大野綾さん

令和元年4月号 (No.276)

福岡市で平成30年度県家の光大会・女性部のつどいが開かれ、記事活用の体験発表では、部員の大野綾さんが最優秀賞に輝きました。

プレイバック女性部

女性部の設立総会がサザンクス筑後で開かれました。部員数9,700人で、福岡県内最大の女性部としてスタート!初代会長には、八女地区婦人部長の平井百合子さんが選ばれました。

日本を襲った、鳥取県西部地震、東京島しょ火山噴火・地震、北海道の有珠山噴火による被災地への支援策の一環として、女性部の呼びかけで募金箱が設置されました。



鳥取県西部地震 支援募金箱

鳥取県西部地震 支援募金箱

噴火地震の被災地へ募金

女性部が呼び掛け

火山噴火、地震で被災した農家やJAなどの一助になればと、JA女性部ではこのほど、各地の地域イベントなどを通じて募金を呼び掛けた。この取り組みは、鳥取県西部地震、東京島しょ火山噴火・地震、北海道の有珠山噴火による被災地への支援策の一環として、各地の地域イベントなどを通じて募金を呼び掛けた。

平成13年3月号 (No.59)

エコ活動への関心が高まる中、JA女性部では「マイバック」の活用を推進している。エコ活動への関心が高まる中、JA女性部では「マイバック」の活用を推進している。エコ活動への関心が高まる中、JA女性部では「マイバック」の活用を推進している。



マイバックでできました

女性部布遊びサークル

エコ活動への関心が高まる中、JA女性部では「マイバック」の活用を推進している。エコ活動への関心が高まる中、JA女性部では「マイバック」の活用を推進している。

平成18年12月号 (No.128)

女性組織 コーナー

Welcome to フレッシュミズ

☆フレッシュミズとは? NO.1

農家・非農家・未婚・既婚問わず、おおむね45歳までの女性なら誰でも入ることができるJAの組織です。現在、八女、筑後、立花、広川、星野、上陽、黒木の7地区で388人の会員がいます。地区内にくつろぎの支部をつくり活動しているところもあります。

平成19年度本部役員

平成19年6月号 (No.134)

女性組織(女性部・フレッシュミズ)のコーナーが新しく設けられました。

JA自己改革を全力で後押し! 女性部組織活動体験発表会

JA女性部は、JA本店で「女性部組織活動体験発表会」を開催し、女性部員やJA役員、関係者から大勢の参加がありました。立花地区から平野あずささんが、それぞれ活動を通して学んだことを発表し、表彰されました。

また、JAグループが取り組む自己改革について学び、JA女性部による自己改革の重要性と、地域にとって必要不可欠な組織活動の重要性についてを再確認しました。

研修では、政府が進める農協改革とJAグループの自己改革の必要性について研修。平野さんは、女性部員が自己改革の推進に果たす役割と、JAの必要性について発表しました。

「女性部組織活動体験発表会」では、JA自己改革について寸劇で学び、JAや女性部の必要性を訴えました。

コロナ禍の中、活動をPRしようと、オリジナルのロゴマークを作成。マスクとバッジを製作しました。

女性部 オリジナルマスクとバッジ作成で活動をPR

JA女性部は、幅広い世代に活動をPRしようと、オリジナルのロゴマークを作成しました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため思うような活動ができない中、ロゴマークを使用したマスクを部員全員に配布しました。感染症対策を徹底するとともに、部員同士の仲間意識を高め、一体となってこの難局を乗り越えようと取り組みました。また、ロゴマークを使用したバッジも作成し、活動をPRしました。マスクはやや大きめのサイズで、「ゆったりして付けやすい」と人気。手洗いできる素材で、裏返しても使用できます。

令和2年1月号 (No.297)

- ### 主な出来事/JA・農政の動き
- 1996 (H8) JA改革関連2法成立
 - 1997 (H9) 消費税5%、農水省「新たな米政策大綱」発表
 - 1998 (H10) 政府「農政改革大綱」「農政改革プログラム」決定
 - 1999 (H11) 米関税化、食料・農業・農村基本法公布 初の1県1JA (JAならけん)
 - 2000 (H12) WTO農業交渉開始
 - 2001 (H13) 国内初のBSE発生 200日のセーフガード暫定措置発動 (ネギなど3品目)
 - 2002 (H14) 農水省「食と農の再生プラン」発表 米政策改革大綱の決定 JAバンク発足 JA全国監査機構発足
 - 2003 (H15) 食品安全基本法公布 米国産牛肉輸入禁止
 - 2004 (H16) 国内で鳥インフルエンザ発生 改正食糧法施行 米政策改革スタート
 - 2005 (H17) 食料・農業・農村基本計画を改定 食育基本法公布 経営所得安定対策等大綱決定
 - 2006 (H18) ポジティブリスト制度施行 担い手経営安定新法成立 米国産牛肉の輸入再開
 - 2007 (H19) 水田・畑作経営所得安定対策スタート、食品表示偽装問題相次ぐ
 - 2008 (H20) FAO世界食料サミット(ローマ) WTO交渉決裂
 - 2009 (H21) 民主、社民、国民新の3党による鳩山新政権が発足
 - 2010 (H22) 農業者戸別所得補償制度が米をモデルに先行実施 菅直人首相(当時)がTPP交渉参加検討を表明
 - 2011 (H23) 東日本大震災で農畜産物に風評被害発生 米の先物取引が試験的に始まる
 - 2012 (H24) JA青年の主張全国大会で、栗原悠次さん(矢部地区)が最優秀賞を受賞
 - 2013 (H25) 日本がTPP交渉に参加
 - 2014 (H26) 規制改革会議が農協制度見直しを提言
 - 2015 (H27) 60年ぶりの抜本改革となる改正農協法が成立 日本を含むTPP交渉に参加する12カ国が大筋合意を発表 JA全国大会「組織活動実績発表」の部で、中司勝万(矢部地区)さんが優秀賞を受賞
 - 2016 (H28) 熊本地震、1,000億円超の農業被害
 - 2017 (H29) 農業競争力強化支援法が成立 日欧EPAが大筋合意
 - 2018 (H30) 西日本豪雨、北海道胆振東部地震が発生、TPPが発効
 - 2019 (H31) 日欧EPAが発効 (R1)
 - 2020 (R2) 日米貿易協定発効 新たな食料・農業・農村基本計画が閣議決定 新型コロナウイルスの感染拡大で政府が緊急事態宣言

クロニクル 青年部

青年部の発足式がサザンクス筑後で開かれました。盟友数533人、初代委員長には松竹秀樹さんが選ばれ活動がスタートしました!

とび出せ JA YOUTH

先駆者めざす 青年部が発足

JA福岡県青年部が発足し、初代委員長に松竹秀樹さんが選ばれました。盟友数533人の青年部員が、活動のスタートを切りました。

平成8年7月号 (No.3)

とび出せ JA YOUTH

長生きするなら 国内産

JA福岡県青年部が主催する「とび出せJA YOUTH」が、国内産米の消費を促す活動を行っています。

平成8年11月号 (No.7)

青年部の第1回手作り看板コンクールでは、上陽地区青年部の看板が1位に選ばれました。テーマは「長生きするなら国内産」です。

パソコンは即戦力

JAふくおか八女青年部笠原支部が教室

経営向上へ意欲的に

パソコン講座を開催し、経営向上のためのスキルを身につけてもらう活動が行われました。

平成10年2月号 (No.22)

情報化社会を迎えた中、農業に関わる気象や市況といった最新情報の収集や経営分析に役立てようと、パソコンの勉強会が開かれました。

東日本大震災の被災地を支援しようと、青年部広川地区の久保田誠二さんが委員長(当時)を努める、JA福岡県青協は、被災地へ支援物資を贈りました。

被災地に支援物資送る

JA福岡県青協

JA福岡県青協(JA青年部広川地区の久保田誠二さんが委員長)は4月1日、JA宮城県青協を通じて被災地へ支援物資を送りました。県内のJA青年部員に支援物資を募り、精米約9tに無洗米約2t、みそやしょうゆ、砂糖などを集め、宮城県七ヶ浜町内の6カ所の避難所へ送りました。久保田委員長は「1日も早い復興に向け長期的な支援活動を続けたい」と話しています。

平成23年5月号 (No.181)

地域住民にTPP反対アピール

JA青年部

地域のみなさんにTPPについて理解してもらおうと、JA青年部員23人が1月20日、地元の駅やAコープなどでTPP参加阻止を訴えるチラシを配布しました。サラリーマンや主婦、学生を中心に、TPPの内容や想定される懸念などが記されたチラシなどを元気な声で呼びかけながら配布すると、受け取った人々は興味深くチラシをのぞき込んでいました。

平成24年3月号 (No.191)

全国で感染が広がった、新型コロナウイルスの影響で、花の販売が苦戦する中、生産者や地元生花店を救おうと、青年部員らが花を買い取り、支店に贈りました。

政府がTPP交渉参加を表明した後、参加阻止を訴える街頭活動が青年部でも活発になりました。

青年部員が地元産花を 職場にプレゼント

JA福岡県青年部が、地元産の花を職場にプレゼントしました。新型コロナウイルスの影響で、消費が落ち込み苦戦している地元産の花を生産者や地元生花店を救おうと、青年部員5人が同地区センターを訪ね、スプレーマムやバラ、ガーベラなど種類豊富な花を買い取り、職場に贈りました。

令和元年6月号 (No.290)



300号記念



読者のあなたにお・い・し・いご褒美♡

プレゼントキャンペーン

あなたはどっち？

ご希望の賞品をどちらか選んでご応募ください！

①ご希望の賞品②お名前③住所④年齢⑤電話番号⑥特別号に対するご感想を明記のうえ、下記応募先までお送りください。

応募締め切りは2021年4月8日(木)まで。

応募先 〒834-0063 八女市本村420-1 JAふくおか八女 Wing 編集係まで
E-mail: koho2@jafyame.or.jp ←メールでも応募できます！



※応募に際し取得しました個人情報 は、賞品引き換え券発送に使用させていただきます。
当選者の発表は、賞品引き換え券の発送をもちましてかえさせていただきます。
(農産物直売所「よらん野」での賞品引き換え期間:2021年4月16日(金)～4月26日まで(月))

A
10名様



冷凍

「博多あまおうと阿蘇小国ジャージー牛乳の贅沢ロールケーキ」

博多あまおうをムース仕立てにし、阿蘇小国ジャージー牛乳の生クリームとプレーンの生地で包み込みました。いちごの風味豊かで、お子さまから大人まで人気の味わいです！

※賞品は冷凍での受け渡しとなります。解凍してお召し上がりください。

B
10名様



冷凍

「八女玉露と阿蘇小国ジャージー牛乳の贅沢ロールケーキ」

八女玉露をふんだんに使い、玉露の豊かな風味とふんわり柔らかい生地で、濃厚かつ上品なロールケーキに仕上がりました！「フード・アクション・ニッポンアワード2020」入賞賞品です。

※賞品写真はイメージです。



JAふくおか八女 INFORMATION

■家庭訪問日 4月26日(月)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、家庭訪問日が前後する、もしくは中止する場合があります

窓口営業時間変更のご案内

支店および本店(金融課)ご利用のお客さまへ

このたびJAでは、働き方改革の一環として労働環境の改善を図るため、以下の通り支店および本店(金融課)の窓口営業時間を見直すことといたしました。

組合員・利用者の皆さまには、何卒ご理解・ご協力をお願いいたします。

これからもJAでは、より良い商品と情報の提供、また、さまざまな活動を通してお客さまとの結びつきを深めてまいりますので、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

※ATMの稼働時間は変更ありません。

変更前	午前8時30分～午後3時
変更後	午前9時00分～午後3時

※変更日：令和3年4月1日(木)より

JASSキャンペーンのお知らせ

JASS全店舗で 毎週木曜日 イベント開催中！

セルフSS(JASS-PORT広川・黒木)

レシートに 当たり が出たら粗品をプレゼント！

フルSS(八女・岡山・とびかた・筑後・光友・上辺春・上広川・長尾・上陽)・セルフSS黒木

ガソリン・軽油20ℓ以上給油のお客さまに粗品プレゼント！

皆さまのご来店を笑顔でお待ちしております。

ご葬儀事前相談会随時承り中

JA葬祭センター「まごころ会館」では、葬儀に関する質問などを承る「ご葬儀事前相談会」を随時開催しています。また、JA定期積金「まごころ」をご契約された方は「まごころの会」の会員となり、葬祭センターを利用いただくと祭壇・司会・設営費が5%引きに。さらに、組合員の方は5%引きになります。ご利用の際は、年中無休・24時間相談体制のJA葬祭センターにご連絡ください。

■問い合わせ

JA葬祭センター「まごころ会館 山内」
八女市山内373 ☎0120(24)4496

JA葬祭センター「まごころ会館 長浜」
筑後市大字長浜90-1 ☎0120(53)4496

公式ホームページ【<http://www.magokoro-ja.jp/>】

令和3年春の農作業安全確認運動

重点テーマ

「見直そう！農業機械作業の安全対策」

農作業死亡事故のさらなる減少を実現するためには、安全意識の向上や安全行動の呼びかけに加え、特に死亡事故が多発している農業機械作業について安全対策を農業者個人および地域全体で強化することが重要です。

令和元年以降、作業機付きトラクターの公道走行が条件付きで可能となりました。そこで、農業者が農業機械の灯火器類の確認等を行う機会が増加するタイミングと合わせて、農業機械作業の安全対策を見直す運動を全国的に展開しています。

今年は下記の重点目標達成に向け取り組みましょう！

重点取り組み

乗用型の農業機械作業におけるシートベルト・ヘルメットの着用徹底により、転落・転倒死亡事故(約90件)の大幅減少を目指します。

実施期間
令和3年3月1日
～5月31日



■事務局

農林水産省生産局技術普及課生産資材対策室(安全指導班)

税務・法律相談日

■税務 4月13日(火)

■法律 4月19日(月)

■場所 JA本店 13:30～

■申込み JA本店 推進指導課 ☎0943(23)3157

介護福祉に関する「相談会・施設体験」承り中

JAでは、介護全般の質問、認定手続きに関する質問や代行、サービス事業所紹介など介護に関する相談、また、デイサービスセンター「茶と花の里」・「茶と花の里2号館」での1日体験利用、施設見学なども随時承っています。ご利用の際は、お気軽にご連絡ください。

■問い合わせ

JAデイサービスセンター「茶と花の里」
八女市本村425-280 ☎0943(23)1161

・「ほたるの会」介護支援センター
・「茶と花の里」「茶と花の里2号館」

農産物直売所「よらん野」情報

- 春の大感謝祭イベント
4月17日(土)~18日(日)
- ポイント企画 水曜日ポイント5倍
- 店休日
4月13日(火)

公式ホームページ【<http://yoranno.net/>】

ショッピングサイト【<https://yoranno.com/>】

Aコープ情報

- 2店舗合同セール(春の決算感謝祭)
4月9日(金)~4月11日(日)
昨年度、1年間のご愛顧を感謝価格にてご奉仕させていただきます。
- 毎週、水曜日と日曜日は…
VIP・あぐりちゃんカード、ポイント5倍!

理事会だより

2月25日(木)開催

- | | |
|--------|---|
| 第1号議案 | 理事の利益相反取引承認について(1) |
| 第2号議案 | 理事の利益相反取引承認について(2) |
| 第3号議案 | マネー・ロダリング等におけるリスク評価書の改正について |
| 第4号議案 | 令和3年度理事報酬について |
| 第5号議案 | 令和3年度監事報酬について |
| 第6号議案 | 令和4年度正職員の採用方針について |
| 第7号議案 | 「貸出要綱」および「職制規程」の一部変更並びに「貸出金の資金種類要項」の制定について |
| 第8号議案 | 移動購買金融店舗車の所管変更に伴う職制規程の一部変更について |
| 第9号議案 | JAふくおか八女デイサービスセンター「茶と花の里」運営規程およびデイサービスセンター「茶と花の里」2号館運営規程の一部改正について |
| 第10号議案 | 外国人技能実習生受入事業規程の一部改正について |
| 第11号議案 | 新型コロナウイルス対策支援事業実施要領の一部改正について |

JAの動き

2月末

● 組合員数 (正)	10,298人
● 組合員数 (准)	16,160人
● 貯蓄	2,537億294万円
● 貸出	351億2,031万円
● 農畜産物販売高	187億9,486万円
● 購買品供給高	104億7,270万円
● 出資	34億900万円
● 共済保有高	7,762億2,301万円



野口 ありますように

(野口)

300号達成すいいですね。「特別号を発刊しよう」と決めたときは、本当に作れるのだろうかという不安が頭をよぎったのですが、隣で泣きそうになる加藤さんを励ましなが、なんとか発刊まじきつきました。25年前の私は11歳。25年後は61歳遠い目…。これからも読者の皆さんの歩みとともにWingが



加藤 読んでください。

(加藤)

今号でWingが300号を迎えました。私は、平成27年11月号(No.255)より編集を担当させてもらっています。今回、記念すべき特別号の編集に携わらせていただき本当にうれしく思います。毎月、ハガキやメールで届く読者の皆さんの声に励まされています。今号も心を込めて編集したので、ぜひ隅々まで楽しんで読んでください。

出荷者さん こんにちば



よらん野出荷者
八女市星野村

後藤 富美子さん

現在出荷しているものは?

みそ・干し野菜・惣菜・まんじゅう・鉄火まんじゅう
炊き込みご飯

出荷するものの特長は?

できるだけ地元産のものを使いながら全て手作りで作っています。地元の女性農家や主人と協力し、衛生管理や水管理を徹底しながら作るヘルシーで手間いらずのみそと干し野菜。産業デザイン賞を受賞したり、国会議事堂の売店で販売されたこともあります。たくさん生産者や消費者の方との出会いがあり、毎日がとても楽しいです!

消費者の皆さんに一言

みその基となるこうじ菌は、日本にしかないものなのだそうです。日本の食の原点は、やっぱりご飯・みそ汁・漬物の一汁三菜。みそは発酵食品なので免疫力を高める効果があり健康にもいいです。ポストコロナの時代では、きっとみそが大事になってくると思いますのでぜひご賞味ください!また、星野村で「ふみちゃんの味そ汁屋さん」という民泊施設も切り盛りしていますので、気軽に遊びに来てください。